

FDA 名古屋小牧～札幌丘珠便で行く vol.2

美瑛・富良野2泊3日の旅

2026年07月15～17日 by Tanjima

令和8年7月、美瑛と富良野へ行ってきました。空の便は5月の小樽・札幌旅行と同じフジドリムエアライنز（FDA）の「名古屋小牧～札幌丘珠便」。今回の航空券も1月のセールで購入したのですが、オンシーズンに入っているということ、2人分往復で燃油サーチャージ込み6万3千8百円と、前回ほどお値打ではありませんでした。

県営名古屋空港から飛行時間約90分、定刻より少し早く札幌丘珠空港着陸。到着口で待っていたレンタカー会社の係員に営業所まで送ってもらってクルマを受取り、一路富良野へ向かいました。札幌から富良野までは道央道と一般道を走って2時間ほど。到着がちょうどお昼ごはんの時間なので、事前にリサーチしておいた食堂で「富良野オムカレー」を食べました。富良野は

オムカレーを「富良野めし」として売り出しているようで、地元で獲れた野菜とソーセージがトッピングされること、お子様ランチのように旗を立てることが特徴のようです。

この日はこのあと美瑛に向かうのですが、途中の北富良野にある「日の出公園ラベンダー園」へ立ち寄りました。ここには北富良野の町が見下ろせる展望台があり、あたり一面がラベンダーとお花畑になっていました。富良野と美瑛にはあちこちにラベンダー畑があるので、こうして立ち寄りながらラベンダーを楽しむのが、この時期の富良野・美瑛観光の醍醐味といえます。

再びクルマを走らせ、この日のメインイベント「白金青い池」に到着。ここは美瑛を代表する有名な観光地で、ものすごい台数の観光バスとマイカーが押し寄せていました。



北富良野にある「日の出公園ラベンダー園」。複数のカップルがラベンダーの中で結婚記念の写真撮影をしていました。



名物？「富良野オムカレー(1650円)」と「地元野菜のソーセージトマトソースオムライス(1480円・左下)」。



美瑛を代表する世界的にも有名な観光地「白金青い池」。見る時間帯・季節・天候で池の色が違って見えるそうです。



青い池の上流にある「白ひげの滝」。十勝岳から流れ出た「ケイ酸アルミニウム」が水を青く見せているのだそうです。

青い池は上流から流れてくる水に含まれる「ケイ酸アルミニウム」が青く見せていて、時間帯や季節、天候によって色が違って見えるそうです。1台千円の有料駐車場に駐車し、観光客でごったがえしている池のふもとに到着。この日はやや緑かったエメラルドグリーンのように見えました。そしてそこにいたのはものすごい数の韓国人たち。こんな山の中の小さな池を有名にしたのは、アップル社がコンピュータの壁紙にしたからだそうですが、さらに韓国では有名な映画のロケが行われたことで、韓国人たちの聖地巡礼となっているようです。

次に向かったのは青い池を青くしている水源を見ることが出来る「白ひげの滝」。あまり落差の大きい滝ですが、滝つぼ部分が確かに青っぽくなっているのがわかりました。



美瑛ではまるで映画のセットのようなかわいいコテージが大人気の「スプウン谷のザワザワ村」に宿泊しました。

近くの道の駅でおみやげを買い、この日の予定を終えたところで、本日泊まる「スプウン谷のザワザワ村」へ向かいました。ここは予約が取りづらい大人気のコテージで、わが家が泊まるのは「タンネの小径」という新しい施設。まるで映画のセットのような素敵なコテージでしたが、残念ながら夕食が付いていないのです。そのため途中のスーパーで食材を購入してきました。



わが家が宿泊したのは「タンネの小径」という新しいエリアのコテージ。1階がLD・Kとトイレ・浴室。2階が寝室です。



キッチン本格格的で調理器具や食器類はすべて完備。朝食用の食材は準備されていて、特にパンがおいしかったです。



JR 富良野線を走る「ノロッコ号」に乗車しました。美瑛～ラベンダー畑間は片道分が運賃 580 円＋指定席料金 1000 円。

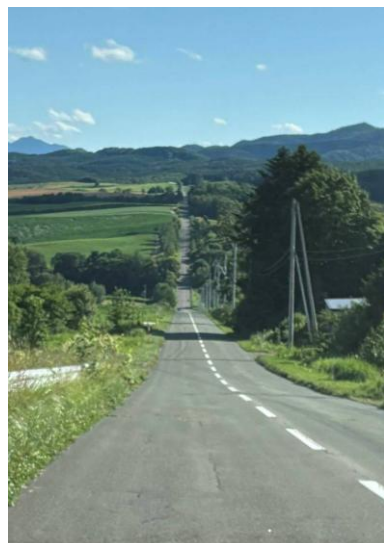


富良野を代表する巨大な農園「ファーム富田」。広大な敷地内にラベンダーをはじめ、いくつものお花畑があります。

朝食はパンと生たまご、ソーセージが用意されていて、コーヒーは自分で豆を挽いてドリッブする本格的なもの。とてもすばらしいひとときでしたが、宿泊費が2名利用で1泊7万円と、ちょっと高いのが玉に瑕でしょうか。

JR 富良野線美瑛駅の無料駐車場に車を停め、観光列車「ノロッコ号」に乗車して、この日の目的地「ファーム富田」へ向かいました。ファーム富田は富良野を代表する農園で、入場料が無料なうえ、駐車場も無料。そのためラベンダーが満開になる時期は、毎年大勢の観光客が訪れるそうです。

わが家が訪れた日もまさに満開。約3時間、名物の「ラベンダーソフト」や「とうきび」を食べながら、広大な敷地内



「ジェットコースターの路」は2km以上アップダウンが連続する楽しい直線道路。

を歩いて回りました。そして再びノロッコ号に乗車して美瑛駅へ戻り、駐車してあった車に乗って出発。途中、2キロ以上に渡りアップダウンが続く有名な「ジェットコースターの路」を走り再び富良野へ。

この日宿泊するのは「新富良野プリンスホテル」で、「十勝岳ビュー」という高層階のカテゴリーのお部屋を予約してあったので、お部屋からの眺望はすばらしかったです。

翌朝はホテル敷地内で「熱気球体験フライト」に参加。午前6時の受付開始に合わせて



富良野では「新富良野プリンスホテル」に宿泊。高級ホテルなのですが客室は狭く浴室とトイレがビジネスホテル並み。



ホテル敷地内で早朝に開催される「熱気球体験フライト」に参加。短時間ですが地上45mからの風景が楽しめました。



「富良野ジャム工房」では普段お目にかかることのない珍しい果実や野菜を使ったジャムを製造・販売しています。



「富良野チーズ工房」では自家製チーズを使った「ピッツア」が大評判。わが家は「ピッツア タマネギ」を食べました。



「フラノマルシェ」にはファーマーズマーケットや物産センターがあり、おみやげを買うのにもとても便利。それにしても午前10時というのに気温はすでに32度。暑い！

向かったのですが、すでに10数名が並んでいて、わが家は3回目のフライトでした。熱気球に乗ったのはこれが初めて、風が出ると中止になるとの説明でしたが、わが家のフライトは無事終了。短い時間でしたが、地上45mからの風景を楽しむことができました。

最終日となるこの日は、「富良野ジャム工房」や「富良野チーズ工房」を巡り、ジャム工房では珍しいジャムを購入し、旭川まで北上して道央道を走って札幌へ戻りました。最後に空港近くのイオンへ立ち寄り、搭乗前に食べる弁当とおみやげに北海道産野菜を購入。予定時間どおりにレンタカーを返却し、空港へ送ってもらいました。そして19時ちょうど発のFDA便で札幌丘珠空港をテイクオフ。事前の雨の予報に反して天気にも恵まれ、美瑛・富良野を存分に満喫できた3日間でした。



今回もFDAの名古屋小牧～札幌丘珠便を使用。セントレア～新千歳便を使用するより移動時間が短くて便利。



今回の旅行の最後に北富良野にある「四季彩の丘」を訪れました。右下はマスコットキャラクター「ロール君」。